



できていますか 大地震から生き残る準備

芳賀町で起こりうる災害の一つに地震があります。地震が起きた時、どのように行動するかが被害の大きさを左右します。今のうちに地震を想定した準備始めませんか。

☎総務課地域安全対策係 ☎028(677)6029



平成23年東日本大震災の町内の様子

1 緊急地震速報が鳴ったら

身の安全を確保

- ・落下の危険がある蛍光灯や吊り看板などの下から離れましょう。
- ・倒れる危険がある本棚や食器棚などから離れましょう。
- ・机など頑丈な物の下に入りましょう。
- ・揺れに備え、頭や体を守ることができる体勢をとりましょう。
- ・慌てて外に飛び出さないようにしましょう。
- ・建物がゆがむと出られなくなる可能性があります。窓を開けましょう。

■緊急地震速報とは
震度5弱以上の地震が予測される場合、強い揺れが予想される地域に発表されます。
発表方法: テレビ、ラジオ、携帯電話の緊急速報メール、防災行政無線など

2 揺れが始まったら

①揺れているとき

- ・落下、転倒する危険な物がない場所であることを確認しましょう。
- ・机など頑丈な物の下で、体を危険にさらさないように小さくうずくまりましょう。
- ・頭を守る行動を取りましょう。
- ・運転中は、ハザードランプを点灯して路肩に駐車し、揺れが収まるのを待ちましょう。

②揺れが収まったら

- ・余震に備えて安全な空間を確保しましょう。
- ・テレビやスマートフォン、ラジオなどで、情報収集をしましょう。
- ・避難が必要な場合には、避難準備を開始しましょう。

3 避難をするときは

・避難所の開設状況の確認をしましょう

避難所の開設状況は、町ホームページや町防災メールで確認できます。
避難所には「町指定避難所」と「臨時避難所」があり、災害の規模や状況により開設されます。被災状況・避難所開設状況を確認し、適切な場所に避難しましょう。危険が迫っている場合には、親戚や知り合いの家など、より安全な場所も検討しましょう。

・ブレーカーを落としましょう

通電火災(停電から復旧した際に出火する火災)の危険性があります。ブレーカーを落とすことで、不在時の発火を防ぐことができます。
※通電火災の例: 落下したタオルがヒーターに接触している状態で電気が復旧することで、ヒーターから発火する

・複数人で行動しましょう

■町指定避難所(11カ所)

- ・町民会館
- ・道の駅はが
- ・町第二体育館
- ・町工業団地管理センター
- ・JAはが野すこやか南高
- ・旧水沼小学校
- ・芳賀東小学校
- ・芳賀中学校
- ・生涯学習センター
- ・芳賀北小学校
- ・芳賀南小学校

■臨時避難所(各大字公民館など)

町指定避難所のほか、各自主防災組織により、臨時避難所が開設される場合があります。

避難所情報はここから
芳賀町防災メール

アドレスを登録することで地震情報や避難情報などがメールで通知されます。
コードを読み取り、空メールを送信して登録しましょう。

▲登録サイト ▲メール画面イメージ

それ“正常性バイアス”かも 避難行動をためらわないで!

「机の下に隠れるなんて大げさな」
「きっと大丈夫」
「避難するほどじゃないだろう」

物事をマイナスに考えることを避けようとする心理を“正常性バイアス”と言います。心の安定を保とうとする脳の働きです。そうした心理が、避難を遅らせてしまうことがあります。そうした心理が働いていることを理解し、命を守ることや逃げることをためらわないでください。

普段から「避難する」を意識し、実際に身を守る行動を取る、避難場所に行ってみるなど、練習しておくことも効果的です。防災訓練にも参加してみましょう。



10月9日(日) 町と自主防災組織の合同防災訓練を実施します

今年の防災訓練のテーマは「地震」

頻発する大規模災害に備え、町では平成30年から自主防災組織(自治会)と合同での総合防災訓練を実施しています。各家庭においても、日頃から、実際に災害が起きた時に迅速に対応できるように備えておきましょう。

- 日時 10月9日(日)8:30開始
- 想定 地震
- 内容 町: 災害対策本部図上訓練、避難所設置訓練
各自主防災組織: 各自主防災組織の実情に応じた訓練

